

学会発表に関する一覧

国内学会

発表者氏名	演題名	学会名	会場	日時
森尾友宏、高橋尚美、水谷修紀	ICOS 欠損症における T 細胞機能異常	第 2 回日本免疫不全症研究会	東京	2009 年 1 月 30 日
Tomohiro Morio	Ex vivo expansion of CD4 T-cells from cryopreserved cord blood and its application in adaptive immunotherapy post cord blood transplant.	第 35 回日本低温医学会総会	東京	2008 年 11 月 21 日
森尾友宏	造血幹細胞移植後の細胞治療の現状と展望	第 3 回新潟細胞再生療法フォーラム	新潟	2008 年 10 月 24 日
森尾友宏	造血細胞移植後 ex vivo 増幅 CD4T 細胞輸注療法	第 70 回日本血液学会総会	京都	2008 年 10 月 10 日-12 日
森尾友宏	増殖リンパ球による細胞療法	第 15 回ヘルペス感染症フォーラム	札幌	2008 年 8 月 22 日-23 日
森尾友宏、梶原道子、清水則夫、伊藤仁也、藤原成悦、大隅一興、関根暉彬	造血幹細胞移植後ウイルス感染症に対する活性化 CD4DLI 療法	第 56 回日本輸血・細胞治療学会	福岡	2008 年 4 月 26 日
今留謙一、矢島美彩子、清水則夫、中川温子、川野布由子、藤原成悦	NOG マウスを用いた慢性活動性 EB ウイルス感染症モデルの作製	第 5 回 EB ウイルス研究会	鳥取	2008 年 7 月 18 日
鴨居功樹、杉田直、菅本良治、高瀬博、望月學、清水則夫、渡邊健	硝子体液の定量 PCR で診断できた細菌および真菌混合感染による遅発性眼内炎の 1 例	第 42 回日本眼炎症学会	福岡	2008 年 7 月 4 日
山本紗也香、杉田直、二神百合、堀江真太郎、望月學、清水則夫、森尾友宏	角膜病変を伴わない HSV-1 関連虹彩毛様体炎の 3 症例	第 42 回日本眼炎症学会、	福岡	2008 年 7 月 4 日
宮永将、杉田直、清水則夫、森尾友宏、宮田和典、望月學	サイトメガロウイルスによる虹彩炎と角膜内皮炎の臨床像比較	第 62 回日本臨床眼科学会	東京	2008 年 10 月 26 日

山本紗也香、杉田直、森尾友宏、清水則夫、望月學	带状疱疹に伴う角結膜炎の涙液中 VZV-DNA 量および眼所見	第 62 回日本臨床眼科学会	東京	2008 年 10 月 26 日
鴨居功樹、高瀬博、杉田直、菅本良治、田中裕一郎、望月學、渡邊健、清水則夫	Broad-range PCR システムで診断した真菌性眼内炎の 1 例	第 62 回日本臨床眼科学会	東京	2008 年 10 月 25 日
清水則夫	再生医療とウイルス安全性確保	第 8 回医薬品等ウイルス安全性シンポジウム	東京	2008 年 12 月 12 日
伊藤仁也	Ex vivo 増幅臍帯血移植	第 90 回血液学会地方会近畿血液学会	神戸	2008 年 11 月 22 日
伊藤仁也	造血幹細胞の ex vivo 増幅技術の開発と応用	第 8 回医薬品等ウイルス安全性シンポジウム	東京	2008 年 12 月 12 日
伊藤仁也	Ex vivo 増幅臍帯血移植を行った急性骨髄性白血病の 1 例	第 31 回日本造血細胞移植学会	札幌	2009 年 2 月 6 日
中田 光 瀧澤淳	口腔内骨膜を用いた組織培養におけるマイコプラズマ菌の検出	第 7 回日本再生医療学会総会	名古屋	2008 年 3 月 13 日-14 日
梶 昌美	口腔粘膜を用いた組織培養におけるマイコプラズマ菌の検出	第 8 回日本再生医療学会総会		2009 年 3 月 5 日-6 日
森尾友宏、大山 敦、峯岸志津子、高木正稔、水谷修紀	細胞加工過程における DNA 損傷反応の検出	厚生労働科学研究再生医療実用化研究推進事業「再生医療・細胞医療製剤に汎用可能な新規微量高感度品質管理・安全性検証システムの開発と製剤の規格化に関する研究」班平成 21 年度第 2 回班会議(森尾班)	東京	2010 年 3 月 6 日
Tomohiro Morio	Infusion of Ex-vivo Expanded Donor T-Lymphocytes for Intractable Infections and Leukemia.	第 32 回日本造血細胞移植学会シンポジウム「Cell Therapy for Intractable Infections and Malignant Diseases」	浜松	2010 年 2 月 19 日-20 日
Tomohiro Morio	Common variable immunodeficiency	The 2nd Symposium for PID in Asia	茨城	2010 年 2 月 4 日-5 日

	(CVID): Molecular basis of immune dysfunction.			
森尾友宏	分類不能型免疫不全症の全国調査と亜群同定	第3回日本免疫不全症研究会	東京	2010年1月31日
森尾友宏、渡辺信和、高橋聡、中内啓光	HLA-Flow法によるSCID-臍帯血ミニ移植後のキメラ解析	厚生労働科学研究難治性疾患克服研究事業「原発性免疫不全症候群に関する調査研究」班平成21年度班会議	東京	2010年1月29日
梶原道子、森尾友宏	ex vivo増殖臍帯血T細胞輸注療法臨床試験プロトコル	厚生労働科学研究免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業「臍帯血を用いる造血幹細胞移植技術の高度化と安全性確保に関する研究」班平成21年度第二回班会議	東京	2010年1月30日
清水則夫、森尾友宏	造血細胞移植後微生物モニタリングシステムの改良と普及に向けて	厚生労働科学研究免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業「同種造血幹細胞移植成績の一元化登録と国際間の共有およびドナーとレシピエントのQOLを視野に入れた成績の向上に関する研究」平成21年度班会議(谷口班)	東京	2010年1月31日
清河信敬、恩田恵子、今留謙一、矢島美佐子、中村宏紀、片桐洋子、森尾友宏、藤本純一郎、藤原成悦	ドナーリンパ球輸注を目的とした臍帯血由来活性化CD4細胞の性状解析	第39回日本免疫学会総会・学術集会	大阪	2009年12月2日-4日
森尾友宏、水谷修紀	Basic to Clinical: Artemis/Cernunos/Lig4 deficiency	第51回日本小児血液学会	東京	2009年11月27日-29日
満生紀子、遠藤明史、小野敏明、高木正稔、長澤正之、森尾友宏、水谷修紀	当科における原発性免疫不全症に対する骨髄非破壊的前処置による移植の検討	第51回日本小児血液学会	東京	2009年11月27日-29日
遠藤明史、満生紀子、小野敏明、高木正稔、	RISTにて臍帯血移植後、TMA、血球貪	第51回日本小児血液学会	東京	2009年11月27日-29日

長澤正之、森尾友宏、水谷修紀	食症候群を発症し死亡したX連鎖重症複合型免疫不全症の1例			
森尾友宏	ex vivo 増殖臍帯血T細胞輸注療法の臨床研究	政策創薬総合研究事業「臍帯血DLIの実用化と細胞治療製剤の医薬品化へ向けてのトランスレーショナルリサーチ」平成21年度班会議(藤原班)	東京	2009年10月20日
満生紀子、大川哲平、高橋考治、遠藤明史、青木由貴、小野敏明、落合央、峯岸志津子、高木正稔、梶原道子、長澤正之、森尾友宏、水谷修紀	RISTによる非血縁臍帯血移植を施行したSCID3例	小児H-SCT研究会	東京	2009年10月9日
森尾友宏、松本耕一郎、落合央、峯岸志津子、清水則夫	891検体のT細胞調製におけるウイルス解析	厚生労働科学研究再生医療実用化研究推進事業「再生医療・細胞医療製剤に汎用可能な新規微量高感度品質管理・安全性検証システムの開発と製剤の規格化に関する研究」班平成21年度第1回班会議(森尾班)	東京	2009年9月5日
森尾友宏、大山敦、峯岸志津子	培養細胞におけるDNA損傷修復反応の検出	厚生労働科学研究再生医療実用化研究推進事業「再生医療・細胞医療製剤に汎用可能な新規微量高感度品質管理・安全性検証システムの開発と製剤の規格化に関する研究」班平成21年度第1回班会議(森尾班)	東京	2009年9月5日
長澤正之、小野敏明、遠藤明史、青木由貴、磯田健志、富澤大輔、高木正稔、梶原道子、森尾友宏、水谷修紀	当科における同種造血幹細胞移植(1995-2007年)の検討	第112回日本小児科学会学術総会	奈良	2009年4月17日-19日
清水一史、渡辺 哲、佐々木 裕、芝田敏	重度免疫不全NOGマウスにおけるインフ	第57回日本ウイルス学会学術集会	東京	2009年10月

克、井口晃史、下平義隆、田中寅彦、黒田和道、清水則夫、山本直樹、山本樹生	ルエンザウイルス感染:強毒変異ウイルスの出現			
今留謙一、矢島美彩子、川野布由子、清水則夫、中村浩幸、渡辺哲、寺嶋一夫、山本直樹、藤原成悦	EBウイルス関連T/NKリンパ増殖性疾患モデルマウスの作製と解析	第57回日本ウイルス学会学術集会	東京	2009年10月25日-27日
矢島美彩子、今留謙一、渡辺哲、寺嶋一夫、中村浩幸、清水則夫、山本直樹、藤原成悦	EBV感染ヒト化NOGマウスモデルにおけるT細胞応答	第57回日本ウイルス学会学術集会	東京	2009年10月25日-27日
塩田節子、林田みどり、平山知子、湯華民、森康子、渡辺健、清水則夫、平田誠、亀岡洋祐、古江(楠田)美保、水澤博、増井徹、小原有広	ヒトヘルペスウイルス-6(HHV-6)ゲノムが検出されたヒト臍帯静脈内皮細胞由来の細胞株HUV-EC-CでのHHV-6の存在様式	第57回日本ウイルス学会学術集会	東京	2009年10月25日-27日
杉田直、堀江真太郎、山田由季子、望月學、渡邊健、片山未来、清水則夫	感染性眼内炎の眼内液を用いた細菌Broad-range定量PCRシステムの有用性の検討	第113回日本眼科学会総会	東京	2009年4月19日
清水則夫、森尾友宏	造血幹細胞移植後微生物モニタリングシステムの改良と普及に向けて	厚生労働科学研究免疫アレルギー疾患等予防・治療研究事業「同種造血幹細胞移植成績の一元化登録と国際間の共有およびドナーとレシピエントのQOLを視野に入れた成績の向上に関する研究」班平成22年度第2回班会議(谷口班)	東京	2009年1月29日-30日
奥田一博、川瀬知之、山中克之、須田洋子、金子正、小神浩幸、中山均、永田昌毅、吉江弘正	ポリ乳酸カプロラクトン重合体フィルムのヒト骨膜シート培養・移植への応用	第9回日本再生医療学会	広島	2010年3月18日-19日
川瀬知之	培養自家骨膜シートをもちいた歯周組織再生療法に関する基礎的研究	第9回日本再生医療学会	広島	2010年3月18日-19日
永田昌毅、川瀬知之、	インプラント症例を対	第52回日本歯周病	宮崎	2009年10月

吉江弘正、奥田一博、 中田 光、高木律男	象とした培養自家骨膜による歯槽骨再生	学会秋季学術大会		11 日
永田昌毅、星名秀行、 川瀬知之、荒澤 恵、 山田一穂、嵐山貴徳、 中田 光、高木律男	歯科インプラントを目的とした培養自家骨膜併用による歯槽骨再生	第 80 回日本形成外科学会関東支部新潟地方会	新潟	2009年7月13日
森尾友宏	細胞移植・細胞治療に関する国・学会の指針と基盤整備	第 33 回日本造血細胞移植学会総会	愛媛	2011年3月9日
清水則夫、渡邊 健、 森尾友宏、吉江弘正、 中田 光	再生医療をサポートする網羅的微生物汚染検出システムの開発と応用	第 10 回日本再生医療学会	東京	2011年3月2日
森尾友宏	造血細胞移植後の体系的免疫能評価法	第 55 回三重大学造血細胞移植カンファレンス	三重	2011年2月4日
森尾友宏	血球系の減少を伴う免疫不全症	第 4 回 21 世紀血液免疫研究会	東京	2010年11月18日
森尾友宏	造血細胞移植後のウイルスモニタリングと感染制御	第 11 回血液細胞療法フォーラム	大阪	2010年10月16日
森尾友宏	"免疫不全症・免疫異常症の多様な姿-診療の ABC から今後の展望まで"	山梨血液感染症セミナー	山梨	2010年9月30日
森尾友宏	原発性免疫不全症の診断と治療-その ABC と今後の展望	三重免疫不全・感染症講演会	三重	2010年9月16日
森尾友宏	細胞加工製品における DNA 損傷及び変異細胞の検出	厚生労働科学研究 再生医療実用化研究推進事業「再生医療・細胞医療製剤に汎用可能な新規微量高感度品質管理・安全性検証システムの開発と製剤の規格化に関する研究」班平成 22 年度第一回班会議(森尾班)	東京	2010年9月4日
森尾友宏	品質管理・安全性検証・規格化における技術開発の動向	厚生労働科学研究 再生医療実用化研究推進事業「再生医療・細胞医療製剤に汎用可能な新規微量高感度品質管理・安全性検証システム	東京	2010年9月4日

		の開発と製剤の規格化に関する研究」班平成 22 年度第一回班会議(森尾班)		
森尾友宏	移植医療におけるウイルス感染症対策：迅速検出法と治療戦略の現状と展望	第 35 回群馬移植研究会	群馬	2010 年 5 月 26 日
小川学、杉田直、井上静、望月學、片山未来、渡邊健、清水則夫、森尾友宏	ヘルペスウイルスの関与が疑われるぶどう膜炎に対する眼内液 PCR 検査の有用性の検討	第 114 回日本眼科学会	名古屋	2010 年 4 月 15 日-18 日
小川学、杉田直、井上静、清水則夫、赤尾信明、望月學	PCR 法を用いたアカント・アメーバ角膜炎の補助診断	第 21 回臨床寄生虫学会	東京	2010 年 6 月 19 日
今留謙一、矢島美彩子、川野布由子、市川紗弓、清水則夫、中村浩幸、伊藤守、山本直樹、藤原成悦	EB ウイルス関連血球貪食症候群モデルマウスの作製と解析	第 58 回日本ウイルス学会学術集会	徳島	2010 年 11 月 7 日-9 日
今留謙一、矢島美彩子、川野布由子、市川紗弓、清水則夫、中村浩幸、伊藤守、山本直樹、藤原成悦	EB ウイルス関連 T/NK リンパ増殖性疾患モデルマウスの作製と解析	第 7 回 EB ウイルス研究会	札幌	2010 年 7 月
今留謙一、矢島美彩子、川野布由子、中川温子、新井文子、市川紗弓、森尾友宏、大賀正一、大石勉、清水則夫、山本直樹、藤原成悦	EB ウイルス関連 T/NK リンパ増殖性疾患モデルマウスの政策と病態発現解析	第 20 回 EB ウイルス感染症研究会	東京	2010 年 3 月 19 日
満生紀子、遠藤明史、青木由貴、小野敏明、高木正稔、梶原道子、長澤正之、峯岸志津子、落合 央、清水則夫、森尾友宏、水谷修紀	当科で施行した造血幹細胞移植患者における網羅的 PCR 法による経時的ウイルス	第 32 回日本造血細胞移植学会総会	浜松	2010 年 2 月 19 日-20 日
Yabe H, Yabe M, Kato S, Koike T, Takakura H, Hyodo H, Tomita Y, Ishiguro H, Shimizu T, Morimoto T, Akiba T.	Recovery of gonadal function after allogeneic stem cell transplantation for aplastic anemia.	第 72 回日本血液学会総会	横浜	2010 年 9 月 24 日-27 日
奥田一博、川瀬知之、	培養骨膜シートを用	第 10 回日本再生医	東京	2011 年 3 月 1

梶 昌美、中田 光、 吉江弘正	いた歯周組織再生 療法の3年予後	療学会		日-2日
吉江 弘正、奥田 一 博、川瀬知之、永田昌 毅、中田 光	骨膜シートによる歯 周組織・顎骨の再生 療法	第10回日本再生医 療学会、シンポジウ ム「歯科領域の再生 医療？」	東京	2011年3月1 日-2日
中島 悠、川瀬知之、 奥田一博、吉江弘正	多血小板フィブリン (PRF)の創傷治癒に 及ぼす効果	第53回秋季日本歯 周病学会学術大会	高松	2010年9月19 日
奥田一博、川瀬知之、 小神浩幸、永田昌毅、 吉江弘正	膜片採取から移植 治療用培養骨膜シ ート形成に至る過程 での細胞動態の分 析	第53回春季日本歯 周病学会学術大会	盛岡	2010年5月13 日-15日

国際学会

発表者氏名	演題名	学会名	場所	日時
<b>Morio T</b> , Watanabe F, Takahashi N, Sato M, Sato R, Takagi M, Imadome K, Miyawaki T, Domenico Delia, Nakamura K, Richard Gatti, Mizutani S.	Ataxia-Telangiectasia in Japan: Phenotypic variations in affected siblings with Ataxia-Telangiectasia.	Ataxia telangiectasia workshop 2008.	Ohtsu, Japan	Apr. 22-25, 2008.
<b>Morio T</b>	Ataxia telangiectasia: Involvement of ATM in immunodeficiency and leukemogenesis.	Symposium on Recent Advances in Cell Function and Defense Mechanism.	Seoul, Korea	Apr. 18, 2008.
<b>Morio T.</b>	Immunodeficiencies with impaired DNA damage response.	Recent Advances in DNA Damage Response.	Seoul, Korea	Apr. 18, 2008.
Fox CP, Long HM, Lowe C, <b>Shimizu N</b> , Rowe M.	LMP2A AS A TARGET FOR T CELL RECOGNITION IN EBV-ASSOCIATED T AND NK CELL TUMOURS EBV	Association General meeting.	Guangzhou, China	Nov. 6, 2008.
Suganuma E, <b>Kato S</b> , et al.	Bone Mineral Density (BMD) in survivors who underwent Hematopoietic Stem Cell Transplantation (HSCT) during childhood. A long term follow-up and effectiveness of Hormone Replaced Therapy (HRT).	Pediatric Academic Societies and Asian Society for Pediatric Research Joint Meeting.	Honolulu, HI, USA	May 2-6, 2008.
<b>Kato S.</b>	Cord blood banking and cord blood transplantation.	ISBT XXXth International Congress.	Macao, China	Jun 13-17, 2008.
<b>Kato S.</b>	Report from Japan and Asia. First	Cord blood Transplant 20th Anniversary Netcord bank organization 10th Anniversary.	Cannes, France	Oct. 16-19, 2008.

Sugita S, <b>Shimizu N</b> , Watanabe K, Katayama M, Horie S, Takase H, Sugamoto Y, Mochizuki M.	Use of broad-range quantitative polymerase chain reaction in the diagnosis of bacterial endophthalmitis.	10 <sup>th</sup> International Ocular Inflammation Society Congress.	Prague, Czech Republic	May 30-Jun 2, 2009.
Okuda K, <b>Yoshie H</b> , <b>Kawase T</b> , Kogami H, Nakayama H, Nagata M.	The human cultured periosteal sheet for periodontal regeneration: A salmon collagen-coated mesh, a functional potent scaffold, to upregulate the osteogenic potential.	The 95th Annual Meeting of the Amer Acad Periodontol.	Boston, MA, USA	Sep. 12-15, 2009
<b>Morio T.</b>	Btk Controls ROS Production and Apoptosis in Human Neutrophils.	XIVth meeting of the European Society for Immunodeficiencies.	Isutanbul, Republic of Turkey	Oct. 6-9, 2010.
Shin M J, Shim J, Lee J, Chae W, Lee H, <b>Morio T</b> , Park J H, Chang E, Lee S.	Functional analysis of Fas-mediated activation signaling pathways in T cells.	14th International Congress of Immunology 2010.	Kobe, Japan	Aug. 22-27, 2010.
Honda F, Ikeda Y, Takahashi N, Lee S, Mizutani S, <b>Morio T.</b>	Btk controls ROS production and apoptosis in human neutrophil.	14th International Congress of Immunology 2010.	Kobe, Japan	Aug. 22-27, 2010.
Ogawa M, S. Sugita S, <b>Shimizu N</b> , Morio T, Mochizuki M.	Use of Human Herpes Virus (HHV) PCR Assays to Detect Viral DNA in Ocular Fluids of Patients with Herpetic Eye Diseases.	ARVO 2010.	Fort Lauderdale, Florida, USA	May 2-6, 2010.
Imadome K, Yajima M, Arai A, Nakagawa A, Kawano F, Ichikawa S, Miura O, Ito M, <b>Shimizu N</b> , Yamamoto N and Fujiwara S.	A xenotransplant model of chronic active EB virus infection by use of NOG mice.	The 14 <sup>th</sup> Biennial Conference of the International Association for Research on Epstein-Barr Virus & Associated Diseases.	Birmingham, UK	Sep. 4-7, 2010.

Kamiya S, Yonezawa H, Woo T, Kurata S, Zaman C, Hanawa T, <b>Kato S</b> , Osaki T.	Biofilm formation by <i>Helicobacter pylori</i> and its pathogenesis.	33 <sup>rd</sup> International Congress on Microbial Ecology and Disease.	Athen, Greece	Sep. 6-10, 2010.
<b>Kato S.</b>	Cord blood banking and cord blood transplantation in children in Japan.	22 <sup>nd</sup> International Congress of Pediatrics.	Tehran, Iran	Oct.14-18, 2010.
Koike T, Yanagimachi N, Yabe H, Yabe M, Morimoto T, Shimizu T, Ishiguro H, Takakura H, <b>Kato S.</b>	High incidence of radiation induced cavernous hemangioma in long term survivors who underwent BMT with radiation therapy during childhood or adolescence.	2011 BMT Tandem Meeting.	Honolulu, HI, USA	Feb. 17-21, 2011.
Koike T, Yabe H, Morimoto T, Shimizu T, Koike T, Takakura H, <b>Kato S</b> , Yabe M.	Recovery of gonadal function after allogeneic stem cell transplantation for Fanconi anemia.	22 <sup>nd</sup> Annual Fanconi Anemia Research Fund Scientific Symposium.	Minneapolis , USA	Oct. 21-24, 2010.
Yabe H, Morimoto T, Shimizu T, Koike T, Takakura H, <b>Kato S</b> , Yabe M.	Long-term follow-up after unrelated bone marrow transplantation in a patient with dyskeratosis congenita.	22 <sup>nd</sup> Annual Fanconi Anemia Research Fund Scientific Symposium.	Minneapolis , USA	Oct.21-24, 2010.
Okuda K, <b>Yoshie H</b> , Kawase T, Kogami H, Nakayama H, Nagata M, Takagi R.	Clinical and histologic evaluation of tissue-engineered cultured periosteum application for bone regeneration.	The 96th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology.	Honolulu, HI, USA	Oct.30-Nov. 2 , 2010.
Kawase T, Nakayama H, Okuda K, Kogami H, Nagata M, Wolff LF, <b>Yoshie H.</b>	Non-invasive evaluation of the osteogenic activity of alveolar bone-derived human periosteal sheets in animal implantation models by in vivo near-infrared (NIR) fluorescence optical imaging.	The 96th Annual Meeting of the American Academy of Periodontology.	Honolulu, HI, USA	Oct.30-Nov. 2 , 2010.

<p>Kawase T, Tanaka T, Nishimoto T, Okuda K, Nagata M, Burns DM, <b>Yoshie H.</b></p>	<p>A porous poly (L-lactic acid) membrane designed for culturing human periosteal sheets as an osteogenic grafting material.</p>	<p>Tissue Engineering and Regenerative Medicine International Society-Asia Pacific Regional Meeting (TERMIS-AP) 2010.</p>	<p>Sydney, Australia</p>	<p>Sep.15-17, 2010.</p>
---	--	---	--------------------------	-------------------------

## VI. 研究成果による特許権等の知的財産権の出願・登録状況

研究成果による特許権等の知的財産権の出願・登録状況

種類	受付(識別)番号	出願日
国際特許	特許タイトル:「APPLICATION OF SYNOVIUM-DERIVED MESENCHYMAL STEM CELLS (MSCs) FOR CARTILAGE OR MENISUCUS REGENERATION」 特願番号:PCT/JP2007/066708 出願人:関矢一郎 発明者:宗田大、森尾友宏、清水則夫、黒岩保幸	2008年8月22日
国内特許	名称:「ヒト未分化造血幹細胞およびその分離方法ならび に分離装置」 発明者:加藤俊一、中村嘉彦 特許:第 4437335 号	2010年1月15日

## Ⅶ 研究事業報告

厚生労働科学研究 再生医療実用化研究事業

「再生医療・細胞医療製剤に汎用可能な新規微量高感度品質管理・安全性検証システムの開発  
と製剤の規格化に関する研究」班(研究代表者 森尾 友宏) 平成 20 年度第一回班会議

期日: 平成 20 年 5 月 31 日(土) 9:00~14:00

会場: 東京医科歯科大学附属病院 B 棟16階第一ゼミナール室

東京都文京区湯島 1-5-45 (JR 御茶ノ水駅、丸の内線御茶ノ水駅、千代田線新御茶ノ水駅から徒歩)

プログラム

9:00~9:30 本研究班申請の経緯と目的

東京医科歯科大学・発生発達病態学分野・細胞治療センター 森尾友宏

9:30~9:45改正 1314 号について

東京医科歯科大学難治疾患研究所ウイルス感染学 清水則夫先生

9:45~10:25 研究分担者施設における品質管理・安全性検証・製剤の規格化における取り

組み・研究 第一部(司会:加藤俊一先生)

国立感染症研究所血液・安全性研究部 浜口 功先生

東京医科歯科大学難治疾患研究所ウイルス感染学 清水則夫先生

神戸先端医療センター研究所血液再生グループ 伊藤仁也先生

10:25~10:40 コーヒーブレイク

10:40~11:35 研究分担者施設における品質管理・安全性検証・製剤の規格化における取り

組み・研究 第二部(司会:清水則夫先生)

東京医科歯科大学・発生発達病態学分野 森尾友宏

新潟大学医歯学総合病院生命科学医療センター 中田 光先生

新潟大学大学院 歯周診断・再建学分野 吉江弘正先生

東海大学医学部基盤診療学系再生医療科学 加藤俊一先生

11:35~12:00 総合討論

12:00~13:00 昼食

13:00~14:00 研究分担者会議

厚生労働科学研究 再生医療実用化研究事業

「再生医療・細胞医療製剤に汎用可能な新規微量高感度品質管理・安全性検証システムの開発  
と製剤の規格化に関する研究」班(研究代表者 森尾 友宏) 平成 20 年度第二回班会議

期日: 平成 21 年 2 月 28 日(土) 9:00~14:00

会場: 東京医科歯科大学附属病院 B 棟 16 階小会議室

東京都文京区湯島 1-5-45 (JR 御茶ノ水駅、丸の内線御茶ノ水駅、千代田線新御茶ノ水  
駅から徒歩)

プログラム

9:00~9:30 本研究班申請の経緯と目的

東京医科歯科大学・発生発達病態学分野・細胞治療センター 森尾友宏

9:30~9:45改正 1314 号について

東京医科歯科大学難治疾患研究所ウイルス感染学 清水則夫先生

9:45~10:25

研究分担者施設における品質管理・安全性検証・製剤の規格化における取り  
組み・研究 第一部(司会:加藤俊一先生)

国立感染症研究所血液・安全性研究部 浜口 功先生

東京医科歯科大学難治疾患研究所ウイルス感染学 清水則夫先生

神戸先端医療センター研究所血液再生グループ 伊藤仁也先生

10:25~10:40 コーヒーブレイク

10:40~11:35

研究分担者施設における品質管理・安全性検証・製剤の規格化における取り  
組み・研究 第二部(司会:清水則夫先生)

東京医科歯科大学・発生発達病態学分野 森尾友宏

新潟大学医歯学総合病院生命科学医療センター 中田 光先生

新潟大学大学院 歯周診断・再建学分野 吉江弘正先生

東海大学医学部基盤診療学系再生医療科学 加藤俊一先生

11:35~12:00 総合討論

12:00~13:00 昼食

13:00~14:00 研究分担者会議

厚生労働科学研究費補助金(再生医療実用化研究事業)

再生医療・細胞医療製剤に汎用可能な新規微量高感度品質管理・安全性検証システムの開発と製剤の規格化に関する研究班 第一回班会議(研究代表者 森尾友宏)

平成 21 年 9 月 05 日(土)9:00 - 14:00

東京医科歯科大学医学部附属病院 16 階小会議室

- 9:00-9:10 研究班の課題と進捗状況  
森尾友宏(東京医科歯科大学・院・発生発達病学分野)
- 第一部 研究発表 (座長:中田 光)**
- 9:10-9:25 ウイルスの網羅的解析(RDV 法)の血清サンプルへの検討  
水谷哲也、浜口功(国立感染症研究所・血液安全性研究部)
- 9:25-9:40 培養口腔粘膜、培養骨膜シートのマイコプラズマ除菌について  
中田光(新潟大学医歯学総合病院・生命科学医療センター)
- 9:40-10:00 培養口腔粘膜に対するマイコプラズマ菌抗原スパイク試験  
梶昌美(新潟大学医歯学総合病院・生命科学医療センター)
- 10:00 -10:15 新規マイコプラズマ検査系の開発  
清水則夫(東京医科歯科大学・難治疾患研究所・ウイルス治療学)
- 10:15-10:30 ヒト培養骨膜の培養期間の短縮化  
吉江弘正(新潟大学大学院・歯周診断・再建学分野)
- 10:30-10:40 **休 憩**
- 研究発表 (座長:伊藤仁也)**
- 10:40-10:55 TMβ-1 抗体投与によるヒト細胞を受け入れる免疫不全マウスの作成  
伊藤仁也(先端医療センター・細胞管理室)
- 10:55-11:15 バイオセーフティを重視した再生医療実現化プロジェクト  
加藤俊一、中村嘉彦、三島大志、中村雅登、宮澤秀和、佐藤忠之、蓮沼裕也、宮地勇人(東海大学 椎間板再生医療プロジェクト)
- 11:15-11:25 891 検体の T 細胞調製におけるウイルス解析  
森尾友宏\*、松本耕一郎\*\*、落合央\*\*、峯岸志津子\*\*、清水則夫\*\*(東京医科歯科大学・院・発生発達病学分野\*、細胞治療センター\*\*)
- 11:25-11:45 培養細胞における DNA 損傷修復反応の検出  
森尾友宏、大山敦\*\*、峯岸志津子\*\*(東京医科歯科大学・院・発生発達病学分野、細胞治療センター\*\*)

**第二部 総合討論（司会：森尾友宏） / 昼食**

11:45-13:00

再生医療・細胞治療製剤の製品標準作成・品質保証・安全性検証における  
課題

**第三部 分野別討論**

13:00-14:00

グループ別討論

厚生労働科学研究費補助金(再生医療実用化研究事業)

再生医療・細胞医療製剤に汎用可能な新規微量高感度品質管理・安全性検証システムの開発と製剤の規格化に関する研究班 第二回班会議(研究代表者 森尾友宏)

平成 22 年 3 月 6 日(土)11:00 – 16:00 東京医科歯科大学医学部附属病院 1 階第 1 会議室

- 11:00-11:10 研究代表者挨拶、Overview  
森尾友宏(東京医科歯科大学・院・発生発達病学分野)
- 第一部 研究発表 (座長:加藤俊一 )**
- 11:10-11:30 再生医療に応用できるウイルスの網羅的検出法の確立  
水谷哲也、浜口功(国立感染症研究所・血液安全性研究部)
- 11:30-11:45 新規マイコプラズマ検査系の開発  
清水則夫(東京医科歯科大学・難治疾患研究所・ウイルス治療学)
- 11:45-12:00 東海大学における再生医療の安全性検査  
佐藤忠之、中村嘉彦、中村雅登、安藤 潔、加藤俊一(東海大学・医学部)
- 12:00-12:20 細胞加工過程における DNA 損傷反応の検出  
森尾友宏、大山 敦、峯岸志津子、高木正稔、水谷修紀(東京医科歯科大学・院・発生発達病学分野)
- 12:20-13:00 **休 憩**
- 第二部 研究発表 (座長:吉江弘正 )**
- 13:00-13:20 TBA  
中田 光(新潟大学医歯学総合病院・生命科学医療センター)
- 13:20-13:40 培養骨膜シートの品質管理と製造期間短縮化  
川瀬知之、吉江弘正(新潟大学大学院・歯周診断・再建学分野)
- 第三部 分野別討論**
- 13:40-16:00 グループ別討論